

浅虫温泉配湯泉の成分、浴用の禁忌症及び注意事項・浴用の適応症

温泉分析書		浴用の禁忌症及び注意事項			浴用の適応症	
1 源泉名	: 浅虫温泉配湯泉(供給元: 浅虫温泉事業共同組合)				1 温泉の一般的禁忌症	1 療養泉の一般適応症
2 源泉所在地	: 青森市大字浅虫字内野6番地1				急性疾患(特に熱のある場合)、活動性結核、悪性腫瘍 重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、 高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患 妊娠中(特に初期と末期)	神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節の こわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、 冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進
3 泉温	: 59.8℃				2 泉質別禁忌症	2 泉質別適応症
4 知覚的試験	: 無色透明・無味無臭				特になし、温泉の一般的禁忌症適用	きりきず、やけど、慢性皮膚病、動脈硬化症、虚弱児童、 慢性婦人病、動脈硬化症
5 pH値	: 8.45				3 浴用上の注意事項	3 適応症決定年月日
6 試料1kg中の成分: 分量及び組成					①温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数を 1日当たり1回程度とすること。その後は1日当たり 2回ないし3回までとすること。	平成17年6月1日
(1) 陽イオン					②温泉療養のための必要期間は、おおむね2ないし3 週間を適当とすること。	
成分	ミリグラム	ミリバル	ミリバル%	③温泉療養開始後おおむね3日ないし1週間前後に湯 あたり(湯さわり又は浴湯反応)が現れることがある。 「湯あたり」の間は、入浴回数を減じ又は入浴を 中止し、湯あたり症状の回復を待つこと。		
ナトリウムイオン(Na ⁺)	170.2	7.4	51.25	④以上のほか、入浴には次の諸点について注意すること。 ア 入浴時間は、入浴温度により異なるが、初めは3分 ないし10分程度とし、慣れるにしたがって延長して もよい。		
カリウムイオン(K ⁺)	4.6	0.12	0.83	イ 入浴中は、運動浴の場合は別として一般には安静を 守る。		
アンモニウムイオン(NH ₄ ⁺)	0	0	0	ウ 入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流 さない(湯ただれを起こしやす人は逆に浴後真水で 身体を洗うか、温泉成分を拭き取るのがよい)。		
マグネシウムイオン(Mg ²⁺)	1.1	0.09	0.62	エ 入浴後は、湯冷めに注意して一定時間の安静を守る。		
カルシウムイオン(Ca ²⁺)	136.9	6.83	47.3	オ 次の患者については、原則として高温浴(42℃以上) を禁忌とする。 (イ)高度の動脈硬化症 (ロ)高血圧症 (ハ)心臓病		
陽イオン計	312.8	14.44	100.00	カ 熱い温泉に急に入るとめまい等を起こすことがあ るので十分注意する。		
(2) 陰イオン					キ 食事の直前・直後の入浴は避けることが望ましい。	
成分	ミリグラム	ミリバル	ミリバル%	ク 飲酒しての入浴は特に注意する。		
フッ素イオン(F ⁻)	0.6	0.03	0.20			
塩素イオン(Cl ⁻)	145.6	4.11	28.27			
臭素イオン(Br ⁻)	0.4	0.00	0.00			
硫酸イオン(SO ₄ ²⁻)	475	9.89	68.02			
炭酸水素イオン(HCO ₃ ⁻)	14.6	0.24	1.65			
炭素イオン(CO ₃ ²⁻)	8.1	0.27	1.86			
陰イオン計	644.3	13.19	100.00			
(3) 遊離成分 非解離成分						
成分	ミリグラム	ミリモル				
メタケイ酸(H ₂ SiO ₃)	68.4	0.88				
メタホウ酸(HBO ₂)	1.4	0.03				
非解離成分計	69.8	0.91				
溶存物質(ガス性のものを除く): 1.027g/kg						
(4) その他微量成分						
成分	ミリグラム					
総ヒ素	< 0.005					
銅イオン	< 0.01					
鉛イオン	< 0.01					
カドミウム	< 0.005					
総水銀	< 0.0005					
亜鉛	< 0.005					
溶存ガス成分						
成分	ミリグラム	ミリモル				
遊離二酸化炭素(CO ₂)	0.0	0.00				
成分総計: 1.027g/kg						
7 泉質	: ナトリウム・カルシウム-硫酸塩・塩化物泉(低張性弱アルカリ性高温泉)				4 禁忌症決定年月日	
8 温泉の分析年月日	: 平成17年 3月28日				平成17年6月1日	
9 登録分析機関の名称及び登録番号	: (社)青森県薬剤師会衛生検査センター 青森県第2号					
					その他	
					1 源泉は温度が高いため、加水(水道水)しています。	
					2 レジオネラ属菌等の殺菌のため、塩素系薬剤 (次亜塩素酸ナトリウム)を注入しています。	
					3 循環ろ過した温泉は温度が低下するため、 加温しています。	
					4 温泉資源保護のため、循環ろ過した温泉と源泉を 併用しています。	